

## 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

### 取組 (4) 教員の資質・能力の向上

#### 「ICTを活用して全ての子供たちの可能性を引き出す令和の日本型学校教育の推進」

- 1 ICTの活用促進に向けた教職員の意識改革を図る校長としての取組
  - ・令和の日本型学校教育について、講義形式で全体指導をした。
  - ・公開研究発表会を開催し、ICTの効果的な活用について研究発表した。
  - ・北海道教育大学山中准教授を招いて教育講演会を実施し、個別最適な学びと協働的な学びの充実や1人1台端末の効果的な活用について研修した。
- 2 教員のICT活用指導力の向上の取組
  - ・研修部を中心に定期的にミニ研修を実施したり、ICT通信を発行したりした。
  - ・道外の先進地（愛知県春日井市）の小学校と中学校に教員2名を派遣した。

### 成果

○日常的に授業の中で、1人1台端末を活用する機会が大きく増えた。効果的な活用方法について校内や各校で交流するなど、中核校・指定校で協働して研修を進めた。若手やベテランが自身のスキルを高めることで、互いに学び合うことのできる活力ある学校となった。



【校長から全教員への説明の様子】

# 質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

## 取組

### (3) 業務の効率化に向けた取組の充実

#### 「タブレット端末の活用」

- ・ クラスルームを活用し、連絡事項や教材等を素早く全員で共有した。
- ・ 集計時間の短縮に向け、Googleフォームで各種アンケートを実施した。
- ・ 移動の時間の削減に向け、タブレット端末で合同会議・合同研修を実施した。
- ・ 児童への教材の配付や欠席児童への配付の時間を削減した。

#### 「ICTを活用した教材の共有化」

- ・ 教材やプリント作成、学習成果の管理、評価資料の整理に係る業務を軽減した。
- ・ 画像の共有、動画視聴教材準備に係る業務を軽減した。

#### 「校務支援システム、クラウド教育支援ツールの活用」

- ・ 通知表・指導要録・出席簿などの一元管理により作業の効率化を図った。
- ・ 児童の情報等をデータ上で共有することにより、引継ぎ資料を作成しないこととした。

## 成果

- 教員が常にタブレット端末を持参しているため、迅速な情報共有が可能となり、打合せ時間の短縮や、アンケート集計作業の効率化を図ることができた。その結果、4月～10月期における平均超過勤務時間は2年前と比較して月平均7時間程度減らすことができた。



【校長から全教員への説明の様子】